

平成15年度「特色ある大学教育支援プログラム」  
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	熊本大学	整理番号	1-4-022
応募テーマ	主として学生の学習及び課外活動への支援の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	IT環境を用いた自立学習支援システム		
申請単位	大学全体		
申請担当者	足立 啓二		
(取組の概要)			
<p>熊本大学は全国の大学に先駆けて、総合的な学務情報システム SOSEKI を全学的に開発・運用してきた。本システムを通じて、シラバスの作成、シラバスをもとにした履修登録、受講者把握と履修指導、学生による授業評価と教員による成績評価など、各種の教育情報交換を、一貫して敏速かつ緊密に行うことができるようになっている。</p> <p>当大学では、高度情報化キャンパス構築という将来構想の一環として、SOSEKI の機能強化と、各種学習情報機能のリンク形成を軸に、IT 環境を用いた学生の自立学習支援システムを発展させる計画である。SOSEKI による履修過程支援の充実によって、学生が本学の教育プログラムを踏まえ、自己の関心と将来設計に従って、最適の履修計画を策定することなど、自主的な学習の計画・実施が容易になる。また学習情報支援の充実によって、学習を深めるための情報、学習方法のアドバイスを、学生は自ら随時入手し、処理することができるようになる。</p>			
(採択理由)			
<p>この取組は、「自立的学習を支える情報システム」を実現するため、すでに7年にわたって実施されているものです。IT 環境を用いた学習支援システムは今日では多くの大学で普及していますが、熊本大学はその先駆的な立場であり、多くの実績があり全学的体制のもと将来に向かって高度情報化キャンパスづくりの意欲が感じられます。今までの実績、大学の組織的な対応などから、個々の取組として先駆的なものであり、それらを総合的に統合する方法は、他の大学に対し十分参考になる事例と認められました。</p>			